

UN FILM DI
VITTORIO DE SICA

UMBERTO D.

CON CARLO BATTISTI / MARIA PIA CASILIO



「靴みがき」「自転車泥棒」の名匠が昇りつめたイタリアン・リアリズムの頂点

■ ヴィットリオ・デ・シーカ監督

ウンベルト・D

■ カルロ・バッティステイ
■ マリア・ピア・カジリオ

イタリフィルム社提供

CARTELLONI DEL *Italian Film Posters in Japan* CINEMA ITALIANO *from The National Film Center Collection* IN GIAPPONE

「イタリア映画大回顧」ポスター展

— フィルムセンター・コレクションより —

東京国立近代美術館フィルムセンター展示室(7階)

2001年11月17日(土) — 12月27日(木) / 2002年1月8日(火) — 2月24日(日)

午前10時30分 — 午後6時(入場は午後5時30分まで) 休館日: 月曜日 入場無料



●世界三大スタアと映画界最高の鬼才が壮麗な構想でつづいた傑作
●カンヌ映画祭グランプリ受賞作品



本展は、「日本におけるイタリア2001」の一環としてフィルムセンターで行われる上映企画「イタリア映画大回顧」と並行して実施されるもので、フィルムセンターが所蔵する戦後イタリア映画のポスター約140点を紹介します。これらはすべて日本の配給会社によって制作された、日本公開用のものです。

「イタリア映画大回顧」では数多くの日本未公開作品が紹介されますが、ここでは対照的に、私たち日本人が観客として接してきたなじみの深い作品のポスターが展示されています。戦後日本の映画観客は、同じく廃虚の中から立ち上がってきた《ネオレアリズモ》の作品群をいち早く評価しましたが、その後も、恋愛ロマンス、艶笑喜劇、マカロニ・ウェスタンからホラー映画に至るまで無数のイタリア映画を愛でできました。本展は、日本人がいかにイタリア映画を受容し、またこれらの映画を通していかにイタリアのイメージを形成してきたか、その道のりを示すことになるでしょう。

- ① 山猫
(ルキノ・ヴィスコンティ監督、1963年)
- ② 昨日・今日・明日
(ヴィットリオ・デ・シーカ監督、1964年)
- ③ 荒野の用心棒
(ボブ・ロバートソン [セルジオ・レオーネ] 監督、1964年)
- ④ 王女メデア
(ピエル・パオロ・パヴァリーニ監督、1969年)

CARTELLONI DEL Italian Film Posters in Japan CINEMA ITALIANO from The National Film Center Collection IN GIAPPONE



NFC 東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6

お問い合わせ:
NTT東日本/ハローダイヤル 03-3272-8600 03-5777-8600
東京国立近代美術館ホームページ: <http://www.momat.go.jp/>

▼交通
営団地下鉄銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
営団地下鉄有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

